

# 八峰白神ジオパーク

連載 112回



事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係  
☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203  
HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>



## 5月26日は県民防災の日



日本海中部地震から37年。風化しないように伝えていくことが大切です。

## 八峰中学校で防災訓練 ~ジオパークと防災~

5月18日、県民防災の日（5月26日）を前に、八峰中学校で地震を想定した避難訓練を実施しました。生徒たちは、指示に従って整然と校庭へ避難しました。その後、場所を体育館に移し、ジオパークと防災の講話を行いました。日本海中部地震の体験者であり、おはなしの会「かもめ」の山本百合子さんを講師に日本海中部地震で発生した地震と津波の恐ろしさを伝えました。

被災者への取材を重ねて制作した紙芝居「きた！じしん つなみ」等の読み聞かせを行い、「津波きたどー!!!!」と山本さんの感情のこもった話しぶりに生徒たちは真剣に聞き入っていました。

山本さんは「津波はこわい。1番大切なのは自分の命を守ること。」と伝えていました。



### 日本海中部地震について

・昭和58年（1983）5月26日、秋田青森県境沖の日本海で地震が発生し、死者・行方不明者104人におよぶ災害が生じました。この被害の大半が、津波によるものでした。地震の規模はマグニチュード7.7、震源の深さ14km、秋田青森県境沖100kmの地点でした。



鎮魂のために設置された満安の乙女像・台座の石は地震により崩れてきたもの。重さ約60トンある。（現在は改修してコンクリート製）

### ジオパークと防災

・ジオパークと防災は何か関係あるのかと思う方もいるかもしれませんが。地震や津波は、地球の活動によって生じることです。地球は私たちにたくさんの恵みを与えてくれます。その一方で地震や津波等大きな災害に見舞われることもあります。私たちが地球に生きている以上、この地球の活動による災害には逆らえないのです。地球をまるごと学ぶジオパークでは、そんな災害の経験や防災について伝えていく活動も行っています。

### ▶秋田のジオパークの活動紹介

秋田県ジオパーク連絡協議会（構成：男鹿半島・大瀧ジオパーク、ゆざわジオパーク、八峰白神ジオパーク、鳥海山・飛鳥ジオパーク）では、学術的な面から地域の価値を創出し、学術資料の蓄積と情報発信を図るとともに、地域資源や地域の魅力の再発見に結びつけるため、研究助成事業を実施しています。

#### 令和元年度の研究結果概要

※詳細はホームページをご覧ください。

- 『鳥海山の山体崩壊により埋没したスギ材の研究』秋田県立大学 栗本康司
- 『男鹿半島の地形と海風収束雲の関係の探求』秋田大学 山下清次
- 『DNA解析によるトビシマカンゾウと鳥海山のニッコウキスゲの遺伝的関係の解明』山形大学 笹沼恒男
- 『津波発生時における河川への土砂遡上に関する研究（八峰白神ジオパーク、竹生川河口域を模した水路実験による検討）』秋田大学 渡邊一也

専門的で難しい内容ですが…研究助成事業を行っているので紹介します。身近な場所の研究なのでホームページをのぞいてみてください！



# 熱中症に注意!



能代山本広域消防本部では、昨年31名の熱中症の方を救急車で搬送しています。これから暑くなる時期を迎えるため、次のことに注意して熱中症の予防に努めましょう。

## 熱中症予防のポイント

- 体調不良、暑いときの無理な運動は事故のもとです。
- 高齢者の居室では、温湿度を測り、暑さを避け、こまめに水分や塩分をとりましょう。
- 日時を選んで行動し、涼しく過ごす住まい、衣服を工夫しましょう。
- エアコンを使用する場合は、リモコンの表示が28℃ではなく、室温28℃を目安に調整しましょう。
- 炎天下では、日傘や帽子を使い、放射熱を吸収する黒色系の素材を避けましょう。

## こんな時は救急車を!

- 自分で水分補給できないときや、脱力感、倦怠感が強く動けないとき。
- 意識がない、あるいは全身のけいれんがあるなどの症状があるとき。

のどがかわいてなくても



水分補給を!

■問合せ先 八峰消防署 救急担当 ☎76-3119

# レジ袋有料化

2020年7月1日スタート

レジ袋削減にご協力下さい



プラスチックは、非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、製品の軽量化や食品ロスの削減など、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ、地球温暖化などの課題もあります。私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。

このような状況を踏まえ、令和2年7月1日より、全国でプラスチック製買物袋、いわゆるレジ袋の有料化を行うこととなりました。これは、普段何気なくもらっているレジ袋を有料化することで、それが本当に必要かを考えていただき、私たちのライフスタイルを見直すきっかけとすることを目的としています。

皆さんも、レジ袋有料化をきっかけに自身のライフスタイルを見つめ直し、エコバッグを持ち歩く等、できるところからプラスチックを賢く使う工夫をしてみましょう。

### 【レジ袋有料化に関する問合せ先】



消費者向け

☎ 0570-080180



事業者向け

☎ 0570-000930